対象：４～５歳児をもつ保護者

時間：９０分程度

|  |  |
| --- | --- |
| ねらい | ○　４～５歳児の特徴を把握する。○　４～５歳児の「生き生き」した活動を促すためのポイントを学ぶ。 |
| 実施のポイント（評価など） | * 子どもの「生き生き」した姿をできるだけ多くイメージし、子どもの気持ちに共感することが大切

であることに気付くことができる。 |
| 事前準備 | * あらかじめ３～４人のグループに分かれておく。
* 筆記用具　　○　ワークシート（２枚を別々に印刷する）　○　アンケート（必要に応じて）

○　名札　　○　油性マーカー　　○　付せん紙　　○　模造紙○　資料（「場面シート」） |
| 時　間 | 学習活動 | 学習活動のねらい（◎）とポイント（・） | 準備物 |
| 　　　　　10分　　　　　**導 入** | ・ワークの趣旨説明・自己紹介・３つの約束 | ・自己紹介では、氏名と今日呼んでほしい名前、今日参加した理由などを互いに話すことでリラックスできるようにする。 | 名札３つの約束 |
| 25分**展 開** | **ワーク1**・わが子の「生き生き」していた場面について付せん紙に記入する。・子どもの姿を観察できるよう多くの場面を思い浮かべる。・付せん紙を紹介しながら模　造紙に貼り、グループで共有する。・グループ内で気付いたことを発表し合う。 | ◎子どもの「生き生き」していた場面を思い出すことや、４～５歳児の特徴について再確認し、改めてわが子の成長を感じることをねらいとする。・できるだけたくさんの場面を思い浮かべるよう促す。・「場面シート」を配付し、生活の中のあらゆる場面で子どもの「生き生き」とした姿を見ることができること促す。・付せんは後からでも追加できることを伝えておく。・付せん紙を紹介し、似た意見を近くに貼りながら、どんな時に４～５歳児が「生き生き」しているか大まかに整理する。 | ワークシートの１枚目付せん紙油性マーカー模造紙資料 |
| ２0分 | **ワーク２**・グループで話し合いながら、キーワードでまとめる。・グループでまとめたことを発表し合い、全体で共有する。 | ◎子どもがなぜ「生き生き」していたのか、子どもの立場になって考えることをねらいとする。・グループで、子どもが「生き生き」するために大切な視点と考えられることをキーワードでまとめる。 | ワークシートの１枚目油性マーカー |
| 25分 | **ワーク３**・ワークシート内の資料を読んで関わり方のヒントを得る。・実践しやすいアイデアを出し合い、ワークシートに記入する。 | ◎「生き生き」した活動を促すポイントに気付き、これからの生活で実際にできそうなことを見つけることをねらいとする。・ワークシートの資料から４～５歳児の特徴や関わり方を考える。・子どもの実態や自分自身の生活に応じて、無理なくできそうなことから考える。・グループ内で共有し、より多くのヒントを得られるようにする。 | ワークシートの２枚目 |
| 10分**まとめ** | **ふりかえり**・感想を記入する。・発表し合い、共有する。 | ・グループ内で感想を共有する。・何人かに発表してもらい、全体で共有する。 | ワークシートの２枚目 |